



### 【スキー教室】

2月3日（木）、2年生が日光湯元スキー場でスキー教室を実施しました。まん延防止等重点措置の適用期間でもあり、実施できるか心配されましたが、1泊の予定を日帰りに変更して何とか実施できました。友達と宿泊することを楽しみにしていた生徒達にとっては残念だったと思いますが、写真を見る限り、日帰りでもみんなで楽しい思い出を作ってくれたようです。逆境の中でもくじけずに、明るく前向きに楽しめる子供達の姿勢に改めて感謝したいです。



### 【階段アート】

コロナ禍の中で、少しでも学校生活を盛り上げたいという生徒会の発案で、校内に「階段アート」が出現しました。デザインの考案から制作まで、1・2年生の全クラス・全生徒が参加して、見事な「階段アート」を完成させました。ご来校の際は、ぜひご覧ください！

（写真は、南校舎東側の1階から2階へ上がる階段です。）



### 【ごあいさつ】

平成30年度から4年間、本校の校長を務めさせていただきましたが、この3月末で定年退職となります。毎年4月の始業式で、「出会い、めぐり逢い」を意味する「邂逅（かいこう）」という言葉を生徒達に紹介し、「人との出会いの素晴らしさと大切さ」について話してきましたが、私にとって、この雀宮中での生徒達・保護者の皆様・地域の皆様・教職員との出会いは生涯の宝物となりました。幸せな4年間を本当にありがとうございました。

この4年間、「来て良かった、行かせて良かったと実感できる学校づくり」をスローガンに、生徒達が「この学校に来てよかった」と思える学校、保護者の皆様に「自分の子供を雀宮中に行かせて良かった」と実感していただける学校にしたいという思いで、教職員と共に取り組んでまいりましたが、後半の2年間は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、生徒達をがっかりさせるような決断ばかりしなければならなかったことが、本当に心苦しく申し訳ない気持ちでいっぱいでした。しかし、そのたびに本校の生徒達は、がっかりした気持ちを我慢して、いつも前向きに、明るく元気に学校生活を送ってくれました。そんな生徒達を頼もしく、誇りに思うとともに心から感謝しています。

コロナ禍の2年間は、子供達から多くの「当たり前」を奪っていきましたが、その一方で、コロナ禍だからこそ得ることができたこともあったと信じています。子供達には、「できないことを嘆く」のではなく、「できることを見つけて楽しむ」という前向きな姿勢を忘れないでほしいと思います。そして、「コロナだから何もできない」ではなく、「コロナだけどころなのにできる！」という力強い生き方をしてくれることを願っています。

最後になりますが、先日の卒業式で私が卒業生に贈った式辞の一部を、1・2年生の生徒の皆さん・保護者の皆様にも贈らせていただくことで、お別れの言葉とさせていただきます。

（裏面へ）

～卒業式式辞より（一部抜粋）～

この2年間で世の中は大きく変わりました。これまでの「当たり前」が当たり前ではなくなった2年間でした。皆さんの卒業アルバムには、例年なら当たり前のようには載っているはずの写真がないかもしれません。しかし、皆さんの心のアルバムには、それらに勝るとも劣らない、この2年間だからこそ得られた貴重な経験と思いがしっかりと刻まれていることと思います。

そして同時に、皆さんの心に刻んでほしい私からの願いがあります。それは、この2年間の皆さんがそうであったように、これからも、どんなに厳しい環境でも、明日への希望を持ち続け、困難を乗り越えていってほしいということです。確かに今は、多くの困難に直面し、夢や希望を持ちにくい世の中になってしまったかもしれません。

しかし、ここで、「万有引力の法則」を発見した世界的科学者、ニュートンのエピソードを紹介します。彼が大学生の時、ペストという感染症が世界的に大流行し、多くの人々が亡くなりました。まさに今と同じ状況です。彼が通っていた大学は二年間に渡り休校になったそうです。その間、彼は大学に行くことができず、実家に戻っていたのですが、その時にリンゴが木から落ちるのを見て「万有引力の法則」を発見したそうです。彼は後に、このペストによる休校だった期間を「創造的休暇」と呼んだそうです。非日常の時間と空間の中で、感覚が研ぎ澄まされたことによって新しい発見ができたのではとされています。

このエピソードは、まさに「ピンチをチャンスに」という言葉の良い事例だと思います。

皆さんも、困難に負けることなく、夢や目標を失わず、それに向かって挑戦し続ける人になってください。困難の先にある希望を見つけ出して力強く前進してください。夢は必ず叶うわけではありません。しかし、夢を追いかけている人の瞳はいつも輝き、その姿は大きな感動を呼びます。夢を追いかけること自体がとても素敵なことなのです。そして、夢を叶えようと努力しているうちに、知らず知らずに人は成長していくのです。

「夢を語り、希望を持ち続ける人であれ」それが私の願いです。そして、「ステップアップ」という本校の合言葉を忘れずに、常に向上することを目指して挑戦し続けてください。

最後になりますが、卒業生の門出にあたり、私が以前から必ず贈っている言葉があります。アメリカのバスケットボール界の元スーパースターであったマジックジョンソンという人の言葉です。はなむけとして、私の願いを込めて贈ります。

「君には無理だよ」と言う人の言うことを聞いてはいけない。  
多くの人々が、僕にも君にも「無理だよ」と言った。彼らは君に成功してほしいんだ。  
なぜなら、彼らは成功できなかったから。途中であきらめてしまったから。  
だから、君にもその夢をあきらめてほしいんだ。  
決してあきらめてはダメだ。  
自分の周りをエネルギーであふれ、しっかりした考え方を持っている人で固めなさい。  
自分の周りを野心にあふれ、プラス思考の人で固めなさい。  
近くに誰かあこがれる人がいたら、その人にアドバイスを求めなさい。  
君の人生を考えることができるのは君だけだ。  
君の夢が何であれ、その夢に向かっていくな。

雀宮中学校の生徒・保護者の皆様と地域の皆様のますますのご活躍と雀宮中学校のご発展をお祈りいたします。